調査データ

平成21年度上期・北海道の観光入り込み客数

道観光局まとめ

新型インフルや長引く不況で近年最低の数字に

北海道経済部観光局によると、北海道の平成21年度上期（4～9月）の観光入り込み客数は、実人数で前年同期比1・3％減（41万人減）の3058万人だった。シルバーウイークや高速道路割引によるドライブ観光の促進などプラス要因があったものの、新型インフルエンザや長引く不況の影響で、道が現行の統計基準を採用した平成9年以降で最低となった。

道では入り込み客の増加要員として①9月の大型連休「シルバーウィーク」（9月19～23日）②ガソリン価格の安定、3月に始まった高速道路の割引制度によるドライブ観光の促進③北海道では初めてとなる「ねんりんピック北海道・札幌2009」の開催――を掲げた。

半面、減少要因として①全国的なインフルエンザの流行②引き続く景気の低迷③夏季の天候不順による観光地への入り込み客や海水浴客の減少④8月の衆議院議員選挙の実施⑤円高の影響による訪日外国人来道者の大幅な減少――を挙げている。

生キャラメル人気で十勝圏が唯一増加

入り込み客数を道外・道内客別にみると、道外客は前年同期比7・2％減の398万人、道内客は同0・4％減の2660万人で、ともに減少した。入り込み全体に占める構成比は、道外客が13・0％、道内客が87・0％。

日帰り・宿泊客別では、日帰り客は同0・5％減の2367万人、宿泊客は4・2％減の690万人。構成比は、日帰り客が77・4％、宿泊客が22・6％。

季節別では、春季（4～5月）は同0・3％増の731万人と微増。夏季（6～9月）は同1・8％減の2327万人と減少した。

●延べ人数

市町村の入り込み客数の実人数を単純合計した延べ人数は、前年同期比2・0％減（173万人減）の8504万人だった。

入り込み客数を圏域別にみると、十勝圏が同5・2％増（31万人増）の633万人と、6圏域中で唯一増加した。

宿泊者延べ数は、十勝圏が同5・7％増（6万人泊増）と伸びたほか、道南圏も同3・7％増（11万人泊増）と増加した。その他4圏域は減少した。

入り込みを伸ばした十勝圏は、生キャラメル人気で中札内町の花畑牧場の入り込み客が大幅に増加したほか、道の駅「ステラ★ほんべつ」が4月にオープン。高規格道路の延伸や高速道路料金割引効果もあった。

宿泊者数を伸ばした道南圏は、函館港開港150周年記念事業の開催など、明るい話題があった一方、函館～関西便の休止、高速フェリーの廃止、新型インフルエンザによる修学旅行など団体客の減少があり、入り込みとしては減少した。

入り込み客数を市町村別にみると、札幌市が743万人で最も多い。以下、旭川市、小樽市、函館市、千歳市の順。

宿泊客延べ数上位は、札幌市、函館市、釧路市、登別市、帯広市。

●訪日外国人来道者数

実人数で前年同期比29・0％減（10万9500人減）の26万7850人と、大幅に減少した。新型インフルエンザの流行や、世界的不況、円高などの悪条件が重なった。

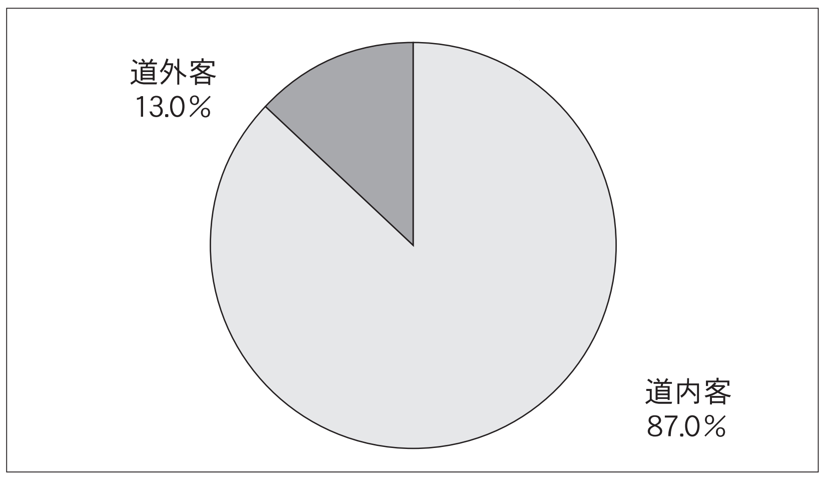
来道者の出身地域別では、アジア地域が同28・4％減の24万7950人。最もシェアが高い台湾は同46・4％減の7万1350人と約半減。韓国も同32・2％減の6万5200人と大きく減少した。

中国は同74・9％増の3万3150人と、主要市場で唯一、数字を伸ばした。国内景気の好調維持、訪日個人観光査証の解禁に加え、道東を舞台にした中国映画の大ヒットが追い風となった。

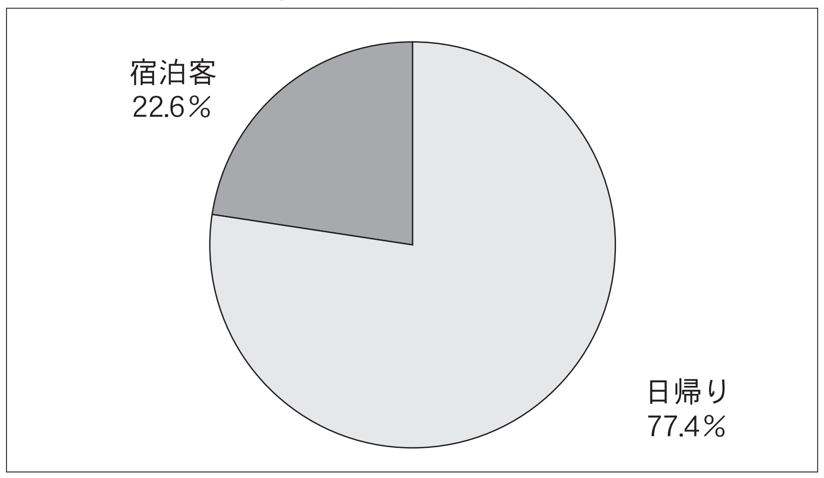
＜平成21年度上期　観光入り込み客数（実人数）＞

区　分		観光入り込み	左の内訳		季節別内訳	
			日帰り客	宿泊客	春	夏
道外客		398万人	1万人	397万人	74万人	325万人
	構成比	13.0%	0.3%	99.7%	18.6%	81.7%
	前年同期比	92.8%	100.0%	92.8%	89.2%	93.9%
うち外国人		27万人	0万人	27万人	6万人	21万人
	構成比	0.9%	0%	100.0%	22.2%	77.8%
	前年同期比	71.0%	0%	71.0%	68.2%	71.9%
道内客		2,660万人	2,366万人	293万人	657万人	2,002万人
	構成比	87.0%	88.9%	11.0%	24.7%	75.3%
	前年同期比	99.6%	99.5%	100.0%	101.7%	98.9%
合計		3,058万人	2,367万人	690万人	731万人	2,327万人
	構成比	100.0%	77.4%	22.6%	23.9%	76.1%
	前年同期比	98.7%	99.5%	95.8%	100.3%	98.2%

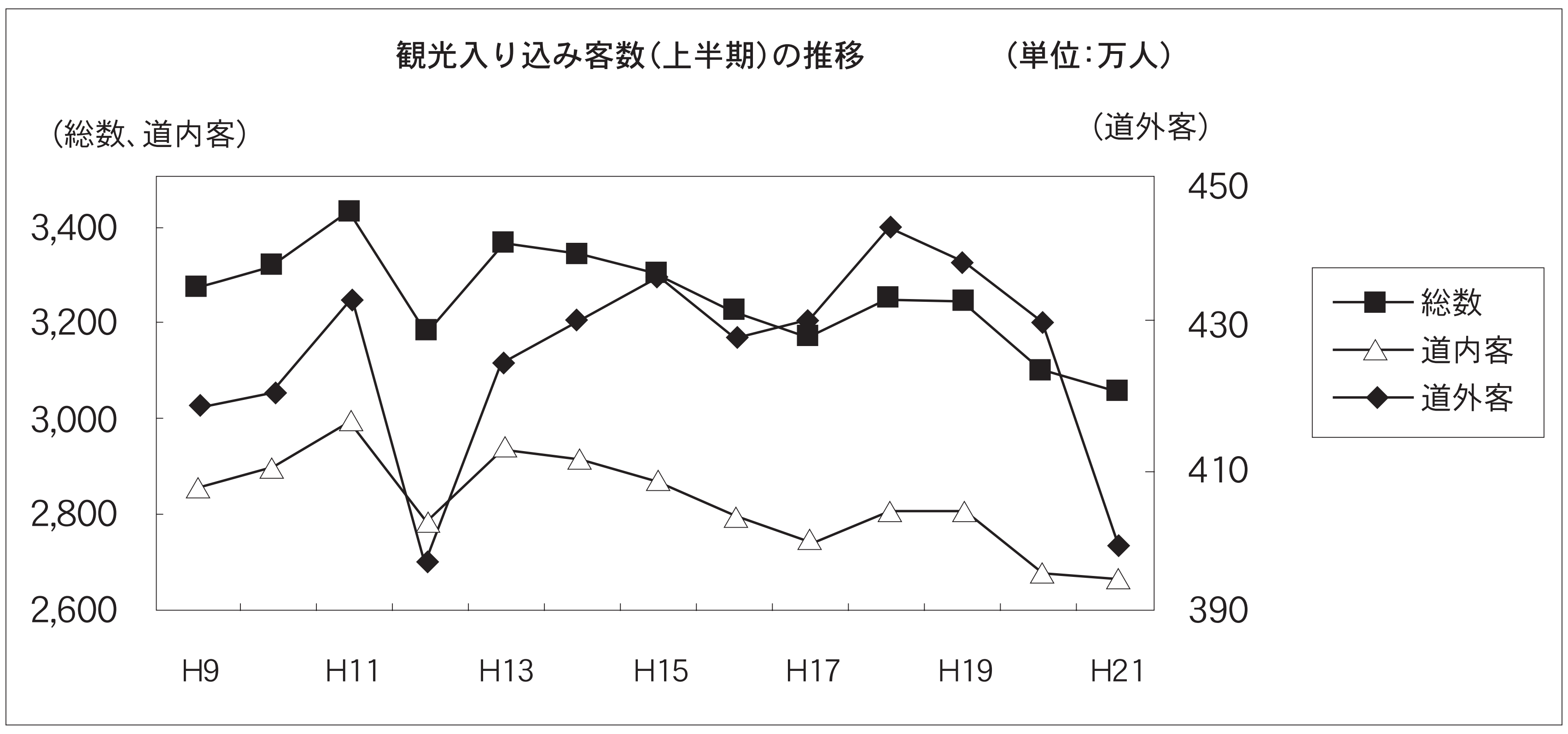
【道内・道外客別構成比】



【日帰り・宿泊客別構成比】

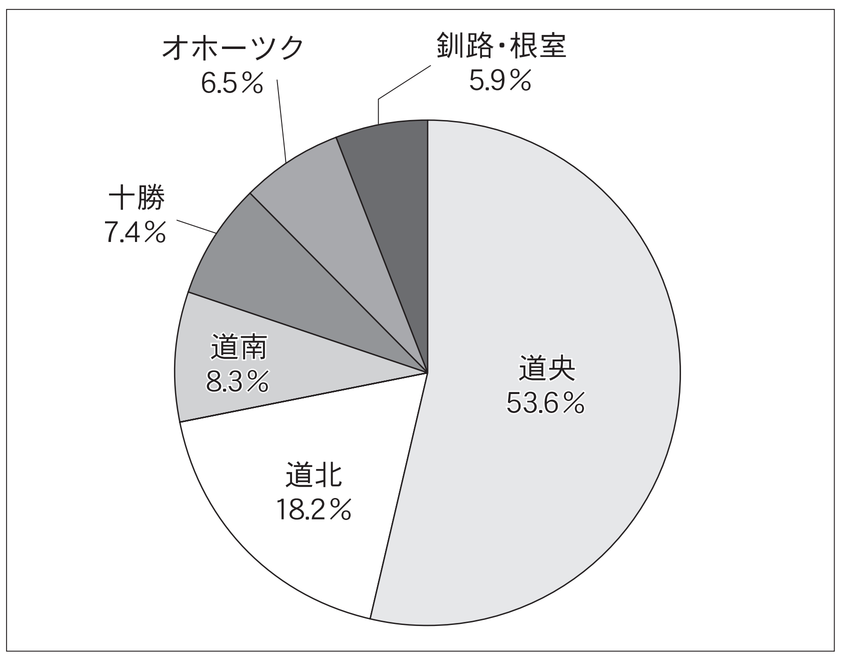


観光入り込み客数（上半期）の推移　（単位：万人）

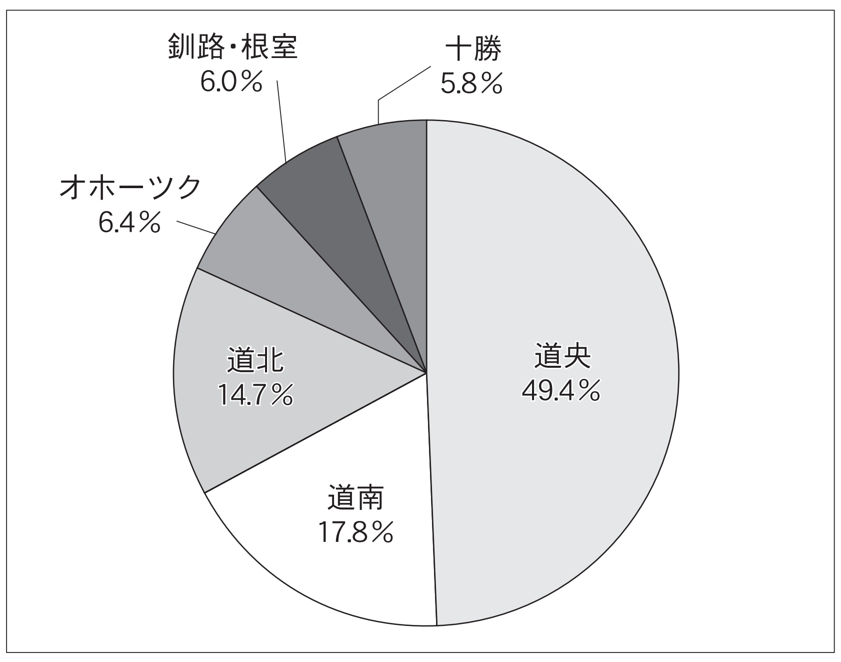


〈観光入り込み客数（延べ人数）　圏域別構成比〉

圏域	観光入り込み客数	前年同期比	増減数	構成比
道央	4,560万人	98.2%	▲81万人	53.6%
道北	1,546万人	98.9%	▲18万人	18.2%
道南	706万人	95.6%	▲32万人	8.3%
十勝	633万人	105.2%	＋31万人	7.4%
オホーツク	554万人	96.0%	▲23万人	6.5%
釧路・根室	505万人	91.0%	▲50万人	5.9%
合計	8,504万人	98.0%	▲173万人	100.0%



〈宿泊者延べ数　圏域別構成比〉

圏域	宿泊客延べ数	前年同期比	増減数	構成比
道央	878万人泊	91.7%	▲80万人泊	49.4%
道南	316万人泊	103.7%	＋11万人泊	17.8%
道北	261万人泊	95.6%	▲12万人泊	14.7%
オホーツク	114万人泊	95.7%	▲5万人泊	6.4%
釧路・根室	107万人泊	92.4%	▲9万人泊	6.0%
十勝	104万人泊	105.7%	＋6万人泊	5.8%
合計	1,778万人泊	95.3%	▲89万人泊	100.0%